

平成25年度事業計画

本県畜産の平成23年農業産出額は419億円であり、農業算出額の約32%を占める重要な基幹作目であり、地域経済を支える重要な産業としての役割をになっております。

しかしながら、畜産経営をめぐる情勢は、国際化の進展、配合飼料価格の高騰・高止まりや景気低迷による畜産物の消費低迷、更には担い手の高齢化や後継者不足など厳しさを増しております。

このような情勢の中で、当協会は、県、市町、JA等関係機関と連携し農家支援対策として、生産性の高い畜産農家を育成するための経営診断や技術指導、畜産特別資金借入者に対する経営改善指導、更に消費者等との相互理解を図るため畜産物の消費拡大等を積極的に行って参ります。

また、価格安定で肥育経営安定対策事業、肉用子牛生産者補給金制度や養豚経営安定対策事業の適正かつ円滑な事業推進に取り組んで参ります。

家畜衛生対策については、家畜伝染性疾病の発生予防を図るための予防接種等自衛防疫の推進、家畜防疫互助基金制度の加入促進、農場飼養衛生管理の徹底に取り組んで参ります。

当協会の運営については、国等の補助金削減、超低金利政策による資金運用収入の減少で大変厳しい状況にありますが、経費の削減を図り効率的な運営を心がけ、公益法人としての目的を達成するため、役職員一丸となって次の事項に重点的に取り組みます。

【重点的取り組み事項】

1. 経営安定対策の推進

事業推進指導体制を強化し、畜産コンサルタント事業、畜産特別資金推進指導事業等を展開し畜産農家の経営分析・技術分析を行い、経営改善のための資金対応や技術指導を関係団体と連携して実施するとともに情報の提供を行い、畜産農家の経営安定や規模拡大に向けた取り組みを積極的に支援します。

2. 家畜の生産基盤の強化

肉用牛優良繁殖雌牛や肥育素牛の導入経費の一部を負担することによ

り肉用牛農家の経費軽減と規模拡大を推進するとともに、ヘルパー活動の組織強化や担い手の高齢化に対応するための要員確保などの活動を支援します。

3. 飼料自給率向上対策及び環境保全対策の推進

安全な国産粗飼料の確保並びに休耕田の利活用を推進し、農家の所得を確保するため稲発酵飼料等の自給飼料の生産拡大を図るとともに、耕畜連携による家畜排せつ物の有効活用を推進します。

4. 畜産物の価格安定対策の推進

肉用子牛生産者補給金制度をはじめとする各種畜産物の価格安定対策事業を推進し、畜産農家の経営安定を図るとともに肉用牛生産基盤の拡大を支援します。

5. 家畜衛生対策の推進

海外悪性伝染病等に対する予防活動、啓発活動に取り組むとともに、関係機関と連携して自衛防疫の推進を図り、ワクチン接種等による家畜の損耗防止を推進します。また、産業動物獣医師等の協力の下、飼養衛生管理基準の普及・徹底を図ります。

6. 畜産振興

大分県農林水産祭（第37回大分県農業祭）の一環行事として、第74回大分県畜産共進会並びに畜産物の消費拡大を図るための畜産フェスタを開催するとともに、食育や安全・安心な畜産物の広報宣伝活動に対しても支援を行います。

7. 情報の提供並びにデータの有効活用

当協会のホームページを充実し、畜産農家が容易に利用できる情報や資料等を掲載して参ります。また、畜産農家の経営改善や技術改善に役立つ子牛、肥育、酪農関係の個別データを分析し、情報として提供します。